

美術科（1年生）学習案内

◎中学校の美術では…

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばし、豊かな情操を養うことを目標としています。（指導要領より引用）

◎そして中学1年生の美術では、主に次のような課題を扱う予定です。

（場合によっては別の課題に変更することもあります。）

○ 描く活動

【絵画】「身近な物のスケッチ」

：形のとらえ方と水彩絵の具の基礎を学習します。

○ つくる活動

【彫塑】「リアルを追求」

：粘土を使って野菜や果物の形や色、質感をそっくりそのまま作ります。

○ 【デザイン】「レタリング：文字のデザイン」

：文字のデザイン(レタリング)を学習します。

○ 鑑賞

自分の作品を自己評価。
みんなの作品で鑑賞会。



評価の観点

美術では次の3つの観点で評価していきます。

① 知識・技能

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。
- ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。

③主体的に学習に取り組む態度

美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

②思考・判断・表現

造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている

★評価の方法

美術では、3つの観点を主に次のような方法で見していきます。

① 知識・技能

- 授業で教わったことを生かし、ていねいに作品を仕上げられたかを評価します。
- 正しい用具の使い方ができたかどうかを評価します。
- 道具や素材の特性を理解し、それを生かして制作できたかを評価します。
- 作品作りのための基礎的な力が身についたかどうかを評価します。

② 思考・判断・表現

- 小学校の図画工作で経験したことを生かし、自分らしいアイデアが出せたかどうかを評価します。
- 一つのことにとらわれず、様々なパターンの発想が出来たかどうかを評価します。
- 発想に合わせて形や色を使えたかどうかを評価します。

③ 主体的に学習に取り組む態度

授業態度：○課題内容に関心を持ち、自分の作品に真剣に向き合って制作しているかを評価します。

○美術室の使い方（道具の扱い・片付け）等ルールを守っているかを評価します。

○授業中の私語や出歩きが多い場合は評価が下がります。

提出物：○作品・プリント・キャプション類を期日までに提出できたかどうかを評価します。

鑑賞 ○身近なものや芸術作品に目を向け、美しさを見つけようとしたかを評価します。

○作品を鑑賞して感想を書き、その作品のよさを自分なりに見つけることができたかを評価します。